

## 2023年 年末大阪支社社員懇親会（12/12） 挨拶原稿

（株）アイヴィス 代表取締役社長 石和田 雄二

3 大都市のガーデンパレスを舞台にしたアイヴィス恒例の年末社員懇親会です。  
4 年前の今頃は中国武漢で新型ウィルスが発生、日本にも1月に上陸しました。  
仕事も生活もどうなるのか、戦々恐々とした当時の雰囲気を出します。  
少人数の大阪支社は、21年に開催したので懇親会は2年ぶりですが、  
今年はコロナ禍も終息、会社としては4年ぶりの全社開催です。  
4年を経て晴れて社員の集まれる会が開ける様になりました。  
全社規模での年末社員懇親会、そのトップを切って、大阪支社での開催です。

一年間、ご苦労様でした。大阪支社は、当社の未来を拓く戦略的拠点です。  
この一年間、皆さんが頑張ってくれたので多くのお客様の信用を得ました。  
それが業績にも表れ、支社として初めて黒字を達成する見通しであり、  
支社社員も70名から100名規模に増え、今後の3年間では無理でも5年後の  
28年度には目標の大阪支社社員300名体制の実現可能性が大きく開けた年です。

この4年間でITサービスの環境も技術も大きく変わりました。  
生成AIの登場で第3次AIブームもブームを超え新AI時代が始まりそうです。  
大きな変化ですが、  
変化はリスクでもあるが、社会構造や産業構造が変わるので、  
変化の波に乗れる新興企業には既存体制を超えて成長できるチャンスでもある。  
一方で、大阪では先端技術展示の万博が控え、開催まで500日を切りました。  
「いのち輝く未来社会のデザイン」、これが大阪万博のテーマです。  
ITを駆使した新技術の商品・サービスが次々に生まれ、  
多くの人を訪れ、大阪は、世界の都市として新しく生まれ変わるでしょう。  
当社も来年度から基盤整備3年計画の下、万博後の成長を目指して参ります。

大切なのは目標と努力、大きな夢を描いて社員と共に未来を拓いて行きたい。  
そのスタートが今日の懇親会、東京にも名古屋にも、皆さんの仲間がいます。  
今日のメインイベントは、杉山君のピアノ演奏です。  
それに、35周年記念の会の演奏や  
IVISの35年間を映像で振り返るスライドショーも用意されています。  
短い時間ですが、仲間と夢を語り合いながら楽しい一時をお過ごし下さい。

以上

## 2023 年 年末名古屋支社社員懇親会 (12/13) 挨拶原稿

---

(株) アイヴィス 代表取締役社長 石和田 雄二

一年間、ご苦労様でした。今日は年末恒例の名古屋支社での社員懇親会です。当社は東京・名古屋・大阪とも、ここガーデンパレスを舞台に開催している。昨日は、第一弾を大阪で開催、ジャズピアノの即興演奏もあり盛会だったが、今日は、出口リーダー演出の伝統のダンスがある第二弾の名古屋懇親会、支社特有のダイナミズムと賑わいを楽しみに参加させて頂きました。

4年前の今頃は中国武漢で新型ウィルスが発生、日本にも1月に上陸しました。仕事も生活もどうなるのか、戦々恐々とした当時の雰囲気をおもひ出します。コロナ禍で4年ぶりの開催ですが、この場所も舞台も殆ど昔と変わらないが、参加者も多い中で、此処にいる社員の大半が若い社員、名前は知っている人は多いが、顔を見慣れてないので戸惑いを覚える。それだけ名古屋支社が、優秀な若手を加えて急速に成長していることが解る。トヨタのIT基盤を支える支社技術者130名強、参加者も大阪の倍以上です。

この4年間でトヨタとの仕事の仕方もITサービスの内容も大きく変わった。コロナ禍の在宅勤務の延長で、作業場所も事務4から当社社内に移り、それは又、仕事の主体性と責任が増すことに繋がる。顧客であるトヨタシステムズ(TS)様の見方も変わり、現場密着型の姿勢と共に技術の先進性と専門性が評価される様になった。5月にTSと当社との間で資本関係が締結され、6月には、塗装分野の前年実績で期待値活動の特別賞を貰いました。10月には連携を進める上で共同研究等の定期的に協議する場がスタートした。これは支社の技術力と質の高いサービスの成果だが、当社への期待でもある。当社の先進技術は、先端技術の開発面を担う月島と応用面で先行する名古屋、クラウド基盤に強い本社と大阪を加えると200名超の精鋭がいる。これに顧客サービス部隊を加えて技術者750人、来年入社新卒105名を加えれば、平均33歳850名の若き技術集団となる。当社のITサービス力は成長期、協力してトヨタのIT基盤を支えて行きたい。

本日は年末懇親会、難しい話は措いて皆さんと楽しい時間を過ごしましょう。先輩や同期の仲間達とこの1年の思い出を語り合いながらお寛ぎ下さい。一年間、皆さんにはいろいろと頑張ってもらって、有難うございました。(了)

## 2023 年 年末月島事務所忘年会 (12/15) 挨拶原稿

(株) アイヴィス 代表取締役社長 石和田 雄二

今日は、先進技術研究開発本部 (ATRD) の忘年会にお招き頂き有難うございます。来週の木曜日 22 日に、東京地区全体の年末社員懇親会があります。

ATRD 独自の忘年会開催の趣旨は、

35 周年記念の会で貢献度 10 選のベスト 1 に選ばれたお祝いの会だと思えます。近年の当社成長の背景には先進技術の実績があり、この信用のお陰で大手 3 社、NTT データ、トヨタ、BIPROGY の当社への資本参加が実現、先進技術の案件確保は勿論、技術導入や人材育成に加え、採用面でも当社の成長発展に役立っている。

10 年前の 2013 年に作った応用技術開発本部が今日の組織 ATRD の前身である。その前年の 2012 年は、ヒントン先生が率いるトロント大が画像認識コンペで画期的成果を出し、それが深層学習 (DL) を世間一般に広める契機となった。2013 年の先端技術の話題は、これ以上に国防高等研究計画局 DARPA のロボットチャレンジ予選で SHAFT が優勝、ロボット実用化への機運が高まったことだ。初期の応技開本部は、防衛省の画像ジャイロ開発での VSLAM の実績から工場の牽引車など自動走行技術に関心があった為か、最新 AI には関心が薄かった。英国 DeepMind 社のアルファ碁は 2015 年、国内でも DL 関連の論文が出始め、先端技術に関心持つ各社の依頼で当社も DL 画像処理 POC の開発を担当した。2016 年には JAXA のデブリ追跡、名大の医療画像処理や顔認識の社内研究成果が積上がり、5 月に第一回技術成果発表会を論文やポスター展示で実施した。発表会は 3 回で終わったが、これが ATRD の研究開発文化形成へ役立っている。

AI も第 3 次 AI ブームとして大きく成長、当社もその流れに乗って松尾先生の主催するコンペに参加して入賞するなど人材も育って多くのお客様の POC 開発を担当し、4 年前の NTT データの技統本との資本業務提携に繋がって行った。画像ジャイロの伝統があっても、第 3 次 AI ブームの流れがあつたとしても、当初の応用技術開発本部の谷口部長、川崎副部長などの初期組織作りへの努力とそこで学んだ経験がなければ今日の ATRD の成長はなかったと考えている。創立 35 周年記念の会の第二部で、貢献度 10 選の第 1 位に選んだ理由である。

第 3 次 AI ブームも生成 AI の出現でブームを超え新たな AI の時代が始まる。22 日の年末社員懇親会とは別に、この機会に将来を語り合うのは良いことだ。殆ど来ることのない月島の忘年会に招いて貰い感謝している。有難う。(了)

## 2023年 年末東京本社社員懇親会 (12/21) 挨拶

(株) アイヴィス 代表取締役社長 石和田 雄二

東京本社の皆さん、一年間ご苦勞様でした。今日は、恒例の年末社員懇親会です。此処ガーデンパレスを舞台に大阪、名古屋と続き、今日が最終の東京会場です。皆さん、日頃の一人ひとりの努力のお陰で、何とか今年も無事に、暮れのこの日を迎えることが出来ました。有難うございます。

少しお時間を貰い、この一年を振り返ります。

今年は、当社創業の35周年に当たり、11月10日に記念式典を開催しました。会社としては一つの区切りの年ですが、今年も又、新たな芽が生まれ、未来に向けての新しいスタートを切った年でもありました。

簡単にその5つを挙げると・・・

一つ目は、昨年の失敗を踏まえ、大規模SI案件の審査管理が機能し始めたこと。  
二つ目は、先進分野で電池の劣化計測など具体的な製品が初めて誕生したこと。  
三つ目は、NTT データに加え、トヨタ、BIPROGY の少額資本参加を得て、

独立企業としての企業基盤が従来に増してしっかりとして来たこと。

その他、いろいろありますが、私としては次の二つを挙げたいと思う。

4つ目としては、新人の大量採用に向けた技術教育の基盤整備が進んだこと。

5つ目は、新たなお客様として、宇宙に続く海洋探査、JAMSTEC との関係です。

詳しい説明は避けませんが、これから上記の芽が大きく育ち、

当社の成長基盤を支え、或いは牽引車として未来を拓いてくれることでしょう。

来年の4月には、新年度の技術系新卒100名強が入社してきます。

愈々、当社も技術者が800人規模を超え、売上も70億を目指すこととなります。

来年度から始まる新基盤整備3年計画で技術再教育と共に部門連携を進め、一方で急成長の歪を外部企業との水平分業と中堅若手の成長で埋める。

2027年3月期には、その後の成長を目指すITサービス企業基盤として、技術者1000人、技術研究所の設立、売上100億円と純資産20億円を達成、私の退任後にも安定した自律成長可能なITサービス企業の経営体質を作りたい。将来Visionを共有、地道に努力を続け、未来への道を共に拓いて参りましょう。

今日は、年末社員懇親会、久しぶりに会う多くの仲間達との出会いでもあり、短い時間ですが、楽しいひと時をお過ごしください。

一年間のご協力、有難うございました。

以 上